

## 第 37 話：🐼「ナマケモノ」をざっくり紹介

### 【テンプレ (OP)】

とよ：生物をざっくり紹介するラジオ、略してぶつざく、パーソナリティーのとよです。

：同じくパーソナリティーを務める〇〇です。

とよ：この番組は生物にまつわることをざっくり紹介する番組です。

：本日もどうぞお付き合いください。

～ 雑談 ～

とよ：それではいきましょう！

### 【テンプレ (本編)】

：今日は何を紹介するんですか？

とよ：今日は Twitter にて「Mo」さんからリクエストをいただいた「ナマケモノ」についてざっくり紹介します。オウギワシに捕食されてるなんて話をした後でごめんなさい。

#### ・基本情報

動物界・脊索動物門・脊椎動物亜門・哺乳綱・異節上目・有毛目・ナマケモノ亜目に分類される生物の総称。基本的にナマケモノの後ろ足の指は3本なんだけど、ナマケモノ亜目には前足の指が2本のフタユビナマケモノ科に属するフタユビナマケモノとホフマンナメケモノの2種、前足の指が3本のミユビナマケモノ科に属するノドチャミユビナマケモノ、ノドジロミユビナマケモノ、タテガミナマケモノ、コビトナマケモノの4種の計6種が存在する。これらは中央～南アメリカの熱帯林に生息している。このうち、コビトナマケモノ以外は結構いるみたい。大きさは結構まちまちではあるけど、だいたい40～70cmで体重4～9kgくらい。500万年～1万年前の大昔には全長6～8m、体重3tくらいのメガテリウムなどの超大型ナマケモノがいたみたい。人間に狩られたりして絶滅したみたいだけど。ちなみに、現在、日本にいるナマケモノは全てがフタユビナマケモノみたいね。ナマケモノ亜目の学名はFolivoraで、木の葉を食べるという意味がある。英語ではsloth (スロー (ス)) っていう、怠惰とかものぐさとかって意味がある。ちなみに7つの大罪のsloth (スロー (ス)) つまり怠惰も同じ。日本語も怠け者。ナマケモノにしてみたらひどい言われようだと思う。

生態として、15～20時間くらい寝てて、ずっと木にぶら下がってる。大変そうって思うかもしれないけど、ぶら下がってると言っても、爪を引っ掛けてるだけっぽい。食事も葉っぱや木の実で、葉っぱなら1日あたり8gくらい食べれば大丈夫みたい。しかも、ナマケモノってけむくじゃらでその毛に緑色の藻が生えるんだけど、それも餌にしてるみたい。自分の体で餌を栽培してる的な。ものすごくエコすぎるスローライフを送ってる。なんにしても少ない食事で生活できているのは代謝量が極端に低いから。例えば、ミユビナマケモノの代謝率は体重1kgあたり1日38.7キロカロリーで、98kcalを要するコアラよりも低い。一方、フタユビナマケモノは55.9kcalを消費する。ミユビナマケモノに匹敵するのは44.2kcalのジャイアントパンダだけらしい。ちなみに、人ではざっくり1200キロカロリーくらいなので、相当節約してる。というのも、ナマケモノは哺乳類では珍しい変温動物なので、体温調節を手放してるから低い代謝量が実現できているらしい。そのため、ナマケモノの筋肉って少し変わってて、ゆっくり収縮するようになってるので、人間みたいに小刻みに震えて熱を作り出すことができないので、爬虫類のように日光浴しないとイケないみたい。なので、これだけ代謝を下げてるので、トイレも1週間に1回くらい。あと、体の構造で面白いのが、ざっくり基本的に哺乳類の首の骨って7個なんだよね。キリンも7個。フタユビナマケモノも7個なんだけど、同じ科のホフマンナマケモノはなんと6個しかない。さらに、ミユビナマケモノ科のみなさんは9個もある。めっちゃある。たくさんあることで首をものすごい角度まで回せるみたい。270°くらい。移動しなくても首を回すことで近くの葉っぱが食べられるね。まあ、だからナマケモノって異節上目なんだよね。ちなみに、鳥類は13～26個、両生類は1つだけみたいだけだね。あと、ナマケモノの食生活が面白くて、消化管内の腸内細菌が消化を手助けして(ってかほぼ腸内細菌頼み) エネルギーに変えているんだけど、それがものすごく時間がかかって、1枚の葉っぱを消化するのに30時間くら

いかかるんじゃないかって話もあるみたい。なので、お腹空いてるからって満腹に食べたとしても消化にものすごく時間がかかるから、場合によっては満腹状態でも餓死することもあるらしい。なので、激しい運動したあとはめちゃくちゃ危険なのよ。でも動くと言っても、陸上では時速16m、最大でも120mくらいなので、ものすごく遅い。ただ、ミユビナマケモノ系だけだけど、実は泳げる。最大歩行速度の2~3倍くらい。消化に時間がかかるから胃の中に溜まったガスが浮き袋の代わりになるみたい。

寿命は飼育下で30年くらい生きるらしいけど、野生ではなかなかそこまで生きられない。なぜかという、捕食者に見つかったら終わりだから。逃げるにしても最大120mでしか移動できないので。でもなんで絶滅せずに今も存在しているのかという、ほとんど動かないから見つからないんだよね。つまり、鬼ごっこじゃなくてかくれんぼで捕食者から免れてる。でも、見つかったら終了なので、動画とか誰かが撮った写真とかでは腕を上げて威嚇のポーズを取ったりするみたいなんだけど、中にはもう諦めて全身の筋肉を抜いて緊張状態を解いて少しでも痛みを感じずに絶命するなんてことをする個体もいるらしい。潔いというか、なんだか涙が出てくるような話だなと思いました。まあ、でも個体数から察するに結構かくれんぼが上手なんだと思う。あとは基本、木の上で生活していて、割と軽いから大型動物がぶら下がれないような木の枝にも行けるらしいので、うまく逃げられてるんじゃないかな。ちなみに、交尾も木の上でやるので、あまり襲われることなく子孫を残せる。でも、地上に降りたら捕食されるリスクがめちゃくちゃ上がるのに、1週間に1回のトイレで、なんと地上に降りてきちゃう。木の上でやったらいいのにね。しかも木の登り降りエネルギー使っちゃうから、餓死の恐れだってある。でもこれにも理由があって、さっき、体に生える藻が餌になるって言ったじゃん？あれって、実は蛾のおかげだったりもするんだよね。なんと、けむくじらの中に蛾を飼ってて、しかも蛾はその中で後尾をしたりもするらしい。人の体で何やってんだって思うけど。でもそこで蛾が生活してるので、おのずと窒素量が増えるのね（詳しい窒素の増加原因は謎らしい）。その窒素が藻の栄養になって増えていけるみたいなんだって。なので、蛾をたくさん住まわせているナマケモノにはたくさんの藻が生えてくるから、蛾がたくさんいた方が勝ち組なのよ。で、じゃあ、なにがそれとハイリスクなトイレが関係しているのかという、自分のいる木の決まった根元で糞をすると住んでた蛾が糞に卵を生みつけて、幼虫がその糞を食べて大きくなって、また成虫になってけむくじらの中で生活するっているライフワークを送ってるみたい。だからリスクを冒してまで決まった場所で糞をするんだって。特に、ミユビナマケモノの方が決まった頻度で決まった場所で排泄するからフタユビナマケモノよりも蛾の数が多んだって。素晴らしい相利共生の関係が成り立ってるね。まあ、でも正直、これが一番の理由だと思うけど、ナマケモノって基本的に単独行動なんだけど、繁殖期になるとメスは頻繁に糞をしに降りてくるんだって。その糞の香り（フェロモンかな？）でオスが探しにきて交尾するということにもつながってるみたい。命をつなぐって大変なんだなと思った。やっぱり死因の大半が排泄時のハンティングなんて話もあるみたい。

以上、最後に言いたいのはナマケモノは結構怠け者じゃないね。

## 【テンプレ (ED)】

とよ：お聞きくださり、ありがとうございました。ぶつざくは皆様からの温かいお便りを募集しています。

概要欄のお便りフォームからお送りください。

：また、TwitterやYouTubeにて、ぶつざくのお知らせをいろいろ配信しています。ぜひそちらも見て、併せてフォローをしてくれると、すごく嬉しいです。

とよ：今回紹介した内容は「ざっくり」だけです。これ以降の深掘りに関しては、リスナーの皆様に委ねます。

：今もあの日の生物がお送りしました。ではまた次回お会いしましょう。

とよ・〇〇：お疲れ様でしたー

## 【ストーリー紹介】

ナマケモノは英語で sloth (怠惰)、日本語で怠け者といいますが、実はものすごく戦略的に生きているんです。戦略的に怠けているのか…。

この話では「とよ」と「しろ」がパーソナリティーを務めます。

-----

## 【参考】

・三訂版フォトサイエンス生物図録 (数研出版)

・ナマケモノ (Wikipedia)

<https://ja.wikipedia.org/wiki/ナマケモノ>

・メガテリウム (Wikipedia)

<https://ja.wikipedia.org/wiki/メガテリウム>

・ナマケモノまとめ！歴史や特徴は？どんな生活をしているの？飼育方法も合わせて紹介！（pepy）

<https://er-animal.jp/pepy/79552>

・ナマケモノ、実は賢い？「生存に完璧に適応」（NATIONAL GEOGRAPHIC）

<https://natgeo.nikkeibp.co.jp/atcl/news/18/030200096/>

・ナマケモノは交尾もゆっくり？（NATIONAL GEOGRAPHIC）

<https://natgeo.nikkeibp.co.jp/nng/article/20150130/433803/>

・コウモリやナマケモノはなぜ逆さまでも平気なのか（NATIONAL GEOGRAPHIC）

<https://natgeo.nikkeibp.co.jp/atcl/news/15/a/090100031/>

・体に蛾を住ませ、藻を栽培するナマケモノ（BIOME）

[https://biome.co.jp/biome\\_blog\\_100/](https://biome.co.jp/biome_blog_100/)

・ナマケモノの勤勉な進化～日経サイエンス 2017年2月号より（日経サイエンス）

<https://www.nikkei-science.com/?p=51869>

・ナマケモノさんは自然界のルールを無視した異端児のようです。（七花八裂）

<https://shichikahachiretsu.com/> 【動物の生態】ナマケモノさんは自然界のルール/

・巨大ナマケモノは肉も食べていた…古生物学上の謎を解くカギになるかも（BUSINESS INSIDER）

<https://www.businessinsider.jp/post-244169>

・古代人は二足歩行の超巨大ナマケモノ（3m）と死闘を繰り広げていたことが化石でガチ判明！体重は700キロまるでモンスター！（excite ニュース）

[https://www.excite.co.jp/news/article/Tocana\\_201805\\_post\\_16935/](https://www.excite.co.jp/news/article/Tocana_201805_post_16935/)

・国際ナマケモノの日（京都市動物園 飼育員ブログ）

<https://www5.city.kyoto.jp/zoo/enjoy/blog/breeder-blog/20211016-63197.html>

・「動物との自撮り」はどんな場合に問題になるのか？（動物を知り、動物を愛す）

<https://animallover.hatenablog.com/entry/2019/09/07/214142>

・ナマケモノの生態と特徴！不思議な動物ナマケモノの省エネ生活（zoo zoo diary）

<https://zoozodiary.com/facts/sloths/>

・ナマケモノ（動物辞典）

<http://animalchain.site/animal/12>

・首の骨の数って、動物によって違うの～？（ほんだ整骨院）

<https://honda.s358.com/blog/bone/1091/>

・健康になる！1日に必要なカロリー「推定エネルギー必要量」（あなたの健康を応援する健康の森）

<https://www.med.or.jp/forest/health/eat/01.html>

・ところでナマケモノって、どれくらい怠け者なの！？（うさぎだ りすえ）

<https://tenki.jp/suppl/usagida/2018/01/14/27787.html>

・ナマケモノの泳ぎは速い（GakuSha）

<https://gaku-sha.com/animal/sloth>

-----  
【お知らせ】

番組への暖かいお便りはトップページまたは以下にあるお便りフォームからお送りください🌱🐟🌿🐭🐹  
また、Twitter やぶつざく公式 YouTube チャンネルにて番組の告知やメンバーの日常、飼育している生物などなどを発信していますので、そちらもチェック・フォローしていただけるとすごく嬉しいです！

👉お便りはコチラ👉

<https://forms.gle/5ta2pim6oPz97VJe7>

👉Twitter はコチラ👉

<https://twitter.com/butuzaku>

👉公式 YouTube チャンネルはコチラ👉

<https://www.youtube.com/channel/UC7UHT6wvNkcjY0zYQ9ffGJQ>